



もりメイト倶楽部 Hiroshima 発【森づくり啓発シリーズ】
～こんな事にも関わっています～



後進へ技術の継承を！！part2 ～簡易製材機の使い方:湯来町松波邸にて～

森の資源となる間伐材をきれいに製材して利用しようと、11年前に「セブン・イレブン記念財団」から助成金をいただき、簡易製材機を購入しました。しかし倶楽部の高齢化が進む中『後進へぜひ技術の継承を』との思いから熱意ある若い人に向け講習会を実施。今回は製材機の仕組みと運転が主でしたが、今回は、製材機の肝となるブレード(刃)の研ぎ方とアサリをとる方法についての講習を行いました。



製材機スタート！

前日までは、台風並みの大雨でどうなるか心配していましたが、快晴の中で講習会が出来、実りあるものを得ることができました。

今回は、講習対象者として6名の参加によって実施しましたが、今回は3名の方が都合悪く欠席となりました。新たに製材に興味のある新人が2名加わり指導する側も力が入りました。今回は製材機の仕組みと運転が主でしたが、今回は、製材機の肝となるブレード(刃)の研ぎ方とアサリをとる方法について講習しました。

新人2名が加わりましたので、丸太の設置及び製材機の運転を前回のやさしいを兼ねて始めましたが、^{せつさく}切削が下がってブレードが外れる状態になりストップしました。またトラブルが発生しましたが、原因は今までの経験からブレードのアサリが少なくなったと判断し、真新しいブレードに交換した結果、正常な状態で切削することができました。これも技術の習得の一つとなりました。午後からは、ブレードの刃研ぎとアサリ(左右に刃先を曲げる)をとる作業に入りました。しばらくこの道具を使っていないので、写真を見ながら組立し、皆さんのお知恵を借りながらなんとか使えるようになりました。それからスムーズに進み4本のブレード研ぎをすることができました。



製材機ブレード(刃)のアサリを作る

以上で、今回開催した簡易製材機取扱講習会のすべてを終了し、若い人への技術を継承する目的を叶えたのではないかと思います。

単純な簡易製材機ですが、取扱説明書もなく使いこなすには、失敗しながら経験を積んで手順書を作っていくことも必要かと思っておりますので、受講した人には大いに期待しています。今後は、クラフト部会の材料づくりの空いた時を狙って、この製材場所の整理と現在ある丸太の製材を実施しますので、皆さんのご協力をお願いします。

7月2(日) 顧問：竹原弘記

- ・講習受講者：4名
- ・講習講師及びオブザーバー：10名

《今回の実施した内容》

- ① 前回研修のおさらいとして製材機の取扱方法の説明
- ② 丸太のセットの仕方
- ③ 製材機の運転方法及び体験
- ④ チェーンソー製材機の組立・製材の実演
- ⑤ ブレード(刃)交換の手順
- ⑥ ブレードの刃研ぎ
- ⑦ ブレードのアサリとり

今回の講習会では、主に製材機のブレード砥ぎとアサりとりを体験しました。どちらの作業も専用の器具と台があり、その台にブレードをセットしてハンドルやレバーを動かせば、新人の私たちでもなんとか形になりました。ただ、作業よりもその準備のほうが大変だったと感じました。親子ほど歳の離れた大先輩方が過去の写真を見ながら専用の器具と台を組み立て、そこにブレードをセットしている姿を見て、将来、自分にも息子と同世代の人たちにこの技能を継承できるかな？と不安になりました。

ただ、私を含め3人の受講生が写真やメモを取っているので、誰が来てもわかるマニュアル整備が次の課題かと思っております。貴重な講習会を企画してくだり、丁寧な指導をしてくださった諸先輩方、誠にありがとうございました。 **2班：徳永 淳**